

授 業 計 画

科目名 『 生活支援技術 I 』		講師名 山田 聡一
		実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
対象学科名 介護福祉士学科 1 年	授業の方法 講義	< 講 義 日 > 月曜日 3限
<p>[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像 介護者は、ICF の視点に基づき利用者の生活全体を把握し、状態に適した介護サービスを提供できるように生活行為ごとに学んでいく。また、事例を用いながら、尊厳ある自律した生活の継続を支援するための基本的な根拠・技術の学習を進めていく。 授業は、個別またはグループごとに応じて演習を行っていく。</p>		
<p>[到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか) ①ICF の視点に基づき、利用者の全体像を捉え説明できるようになる。 ②生活行為ごとの介護に対する根拠を理解できるようになる。 ③福祉用具の活用方法などを理解し説明できるようになる。 ④応急手当の知識と技術や災害における生活支援など理解できるようになる</p>		
<p>[検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など。 ・小テスト ・課題の提出</p>		
<p>[使用テキスト・参考文献] *使用した場合のみ 生活支援技術 I (中央法規)</p>	<p>[成績評価の方法・基準] ・定期試験の素点 8 割 ・平常点 (出欠席・授業態度・課題提出等) 2 割 *評価基準は評価記入用紙による。</p>	

回数	授 業 内 容
1	ボディメカニクス・車いすについて
2	ボディメカニクス・車いすについて
3	車椅子演習
4	歩行・杖歩行について
5	歩行・杖歩行介助
6	生活支援とは
7	ライフサイクルと生活の豊かさ
8	生活支援のポイント
9	根拠に基づく生活支援技術とは
10	1 段階実習前確認
11	I C F の視点
12	利用者主体の生活支援技術の実践に向けて
13	生活支援とチームアプローチ
14	試験対策
15	前期の振り返り・まとめ

回数	授 業 内 容
1 6	住まいの役割と機能／生活空間
1 7	快適な室内環境／安全に暮らすための生活環境
1 8	多職種との連携
1 9	自立に向けた移動の介護
2 0	移動・移乗のための道具・用具
2 1	生活支援における福祉用具の重要性／福祉用具の種類
2 2	適切な福祉用具を選ぶための視点
2 3	自立に向けた家事の介護
2 4	自立に向けた家事の介護
2 5	応急手当てについて
2 6	応急手当の実際
2 7	災害時における介護福祉職の役割
2 8	災害時における生活支援の実際
2 9	試験対策
3 0	後期振り返り・まとめ